

岡田式健康法研究会会場

第10回岡田式健康法研究会

精神科クリニックの診察室で感じたこと



(写真：岡山県精神科クリニックにて)

- うつ病：薬物療法の効果と限界？
- 適応障害：環境が改善されなければ？
- パニック障害：条件反射との闘い？
- 自律神経失調症：体に原因が無いのに？

参加者：本会場 品川プリンスホテル 226名

医師・医療関係者・国会議員・県議・市議・行政関係
など

映像配信（東京療院） 約178名

合計 404名

シンポジウム登壇者



1. 禅僧として、精神科医として、人の「こころ」に向き合うということ

川野 泰周 (臨済宗建長寺派林香寺 住職、RESM新横浜 睡眠・呼吸メディカルケアクリニック 副院長)



2. 医療における宗教の役割：西欧キリスト教社会と日本の比較

酒谷 薫 (日本大学 教授、次世代工学技術研究センター センター長)



3. 医療におけるスピリチュアリティ

加藤 眞三 (慶應義塾大学 看護医療学部 教授)

講演



的場 主真
(ヴイッテン・ヘルデッケ大学 教授)

研究
発表



加藤孝太郎
(一般財団法人MOA健康科学
センター 研究員)

研究
発表



河合 由紀
(医療法人財団玉川会 エム・
オー・エー高輪クリニック 非常
勤医師)

研究
発表



金 秀成
(阿南町 富草へき地診療所
院長)